

No.177

さい議会だより



「漁師縁組事業」で憧れの漁師に

(関連記事 : 11 ページ)

3月定例会の主な内容

- ☆ 平成29年度の事業 3 ページ
- ☆ 一般質問に3名の議員が登壇 6 ~ 11 ページ
- ☆ 「シイライン」追跡質問 12 ページ
- ☆ お元気ですか「85歳の挑戦者」 16 ページ

平成29年第1回定例会は、3月10日から15日までの6日間の会期で行われました。村長から、報告2件、補正予算案5件、当初予算案6件、条例案8件、同意1件、その他10件の計32件。議員から条例案1件、その他1件の計2件が提出され、それぞれ原案どおり決しました。

平成29年度の村の予算 新規事業に期待

6会計の内訳

○一般会計	24億8943万円（前年度比△6736万円）
○簡易水道事業特別会計	7644万円（前年度比△313万円）
○下水道事業特別会計	1億8943万円（前年度比301万円）
○国民健康保険特別会計	4億3739万円（前年度比△6137万円）
○介護保険特別会計	2億7974万円（前年度比△6305万円）
○後期高齢者医療特別会計	2528万円（前年度比121万円）
合 計	34億9771万円（前年度比△1億9069万円）

○佐井村公の施設に係る指定管理者の指定について
施設の指定期間が満了となるため、新たに指定する。

空き家などの管理に関する義務を明らかにする。また、空き家などが放置され、管理不全で危険な状態となつた時など措置について定め、空き家などの活用を促進する。

○佐井村空家等の適切な管理に関する条例

審議した主な議案

厳しい財政状況であり、経費の縮減を図るために、29年度においても引き続き、6ヶ月の期末手当を5%削減する。

○佐井村議会の議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

議員提出議案

○佐井村奨学金貸与条例の一部改正

奨学生の返還について、免除できる範囲と要件を新たに加えたもの。

※奨学生が修学期間を終了し村内に居住した場合、奨学生の全部または一部の返還を免除することができます。（ただし、公官庁等に採用された方を除きます。）

8施設の指定管理を行う団体

○川目地区生活改善センター	川目地区会	総代 湊谷 明
○磯谷地区漁民研修センター	磯谷地区会	会長 田中 勝年
○長後地区生活改善センター	長後地区会	総代 大石 輝彦
○歌舞伎の館	福浦地区会	総代 田中 憲吉
○牛滝地区交流促進センター	牛滝地区会	総代 坂井 一尚

指定期間：平成29年4月1日から平成32年3月31日まで

○津軽海峡文化館「アルサス」	佐井定期観光株式会社
○願掛公園野営場	特定非営利活動法人ゆいっこクラブ
○フォーレストパーク（森林体験館）	株式会社サンアメニティ

指定期間：平成29年4月1日から平成34年3月31日まで

平成29年度の新たな事業 子育て・教育環境の充実図る

○児童生徒医療費給付事業（高校生分）···60万円

中学校終期までとなっていた医療費助成を高等学校終期までに拡大



平成29年度は佐井小学校へ7人が入学

○英語、漢字検定受験料補助金···24万円

小学生の漢字検定受験費用、中学生の英語検定受験費用を、それぞれ一人につき1回補助する費用

○学校諸費補助金（小・中学校）···61万円

保護者の負担軽減を図るために、学校諸費を生徒1人当たり5千円補助するもの

○佐井中学校ICT推進事業···536万円（財源：ふるさと佐井村応援基金）

佐井中学校でICTを活用した授業を行うための教材などに要する費用

○東北観光復興対策事業···638万円（財源：国庫支出金）

平成28年度インバウンド対策として実施した、外国人留学生による現地調査の報告書を基に、体験プログラムの開発とモニターツアーを実施する。また、観光リーフレットや案内看板の多言語化を予定

○海岸漂着ゴミ清掃事業···317万円（財源：県支出金）

磯谷沖漂流船の処分及び海岸漂着物清掃業務の委託費

人権擁護委員とは…

人権擁護委員法（1949年）に基づき、国民の基本的人権の審判の監視・救済を行い、人権思想の普及高揚に努めることを使命とする委員。大臣が市町村ごとに委嘱します。法務



丹藤博文さん
(原田)

人権擁護委員 田中豊衛氏の後任の候補者として 丹藤博文氏を推薦することに、全会一致で同意しました。

丹藤 博文 さん

人権擁護委員の候補者

効果や参加状況は

健康マイレージ事業

川畠委員
補正予算で、保険給付費が3千万円ほど減額になっている要因は何か。

川畠委員
健康づくりで医療費を抑制

住民福祉課長
病気が重症化した場合の高額療養者が増えないよう健康づくりを進め、健康なむらづくりから医療費を抑制することなどによる。



みんなで『元気あつぶる体操』
ヘルスアップ in 佐井（1月14日：アルサス）

平成28年度は
約100人が参加

住民福祉課長

川畠委員
健康マイレージ事業の取り組みの効果と参加状況は。
事業の住民への浸透は、まだまだ薄いと思つてゐる。平成28年度の参加者が100人弱で、抽選対象者（※）は30人ほどであつた。

※ 抽選対象者？
健康マイレージ事業に申込み、検診を受診する、自分で設定した目標を達成するなどにより、200ポイント以上貯めた方が対象。抽選で電子製品などが当たる。
100ポイント以上貯めた方は参加賞を贈呈する。

空き家調査の結果は

川畠委員

空き家の調査が終了し、「佐井村空家等の適正管理に関する条例（案）」が上程された。空き家について、管理不全や危険なものと、そうでないものとの区別はどのようになっているか。

総合戦略課長
「特定空家」に危険な空き家を行政代執行

空き家の中でも、近隣に被害を及ぼす可能性のある空き家を「特定空家」としている。

川畠委員
費用負担は行政代執行

調査によると、空き家が150戸あり、特定空家が40戸と報告を受けた。

行政代執行（※）の費用負担は、村か所有者か。

※行政代執行
行政機関による撤去命令などに応じない人たちに代わって行政機関が強制的に撤去するなどの措置

費用負担は所有者

総合戦略課長

行政代執行した場合でも、掛かる経費についても所有者に請求する。

対策協議会の設置は

川畠委員
空き家等対策協議会を設置するとあるが、いつ頃を中途に設置し、年間何回会議を開く予定か。

年2回程度開催

総合戦略課長

具体的にはまだ決まっていないが、1回から2回と考えている。

※行政代執行
行政機関による撤去命令などに応じない人たちに代わって行政機関が強制的に撤去するなどの措置

アルサス内店舗 通年営業せよ

竹内典和委員

アルサス内の店舗には、
通年営業でない店がある。
冬季休業では、本来の觀
光拠点の意味をなさない。

何年も指導がされていな
いのではないか。

関係者と協議する

村長

アルサス活性化協議会
でさまざまなイベントを
展開し、賑わいを創出し
よう取り組んでいる。

しかし、2時以降には閉
店してしまい、利用者か
ら不満の声があるのは事
実である。

各テナントにも経費面
やさまざまな事情がある
とは思うが、今後アルサ
ス周辺の賑わい創出事業
を展開する上でも重要で
あるため、関係者と協議
していきたい。



アルサス駐車場内の
店舗案内看板

竹内典和委員

指定管理者制度の当初
の目的は、村の経費の削
減と民間活用による建物
の有効活用であった。し
かし、現在の状況は、村

が経営していた時よりも
悪くなっていると感じる。
村長はどう感じているか
が経営していると感じる。

応募は1施設に
1団体のみ

村長

今回も、指定管理者に
応募した団体は、1施設
当たり1団体ずつであつ
た。

利用率を高め、収益に
結び付けるような方策を
展開するよう指導してい
きたい。

目的に沿う体制を
確立する

村長

再募集や、従来どおり
臨時職員を配置すること
も可能であるが、指定管

理者制度の目的に沿うよ
うな体制を確立していく
たい。

無理やり
押し付けていないか

竹内典和委員

応募者が1団体であつ
ても、審査会の中でしつ
かりと審査るべきであ
る。1団体しかないから
といって無理やりに押し
付けるのは、不合理であ
ると思うが。

目的は達成されているか

竹内修委員

三者連携で効果を

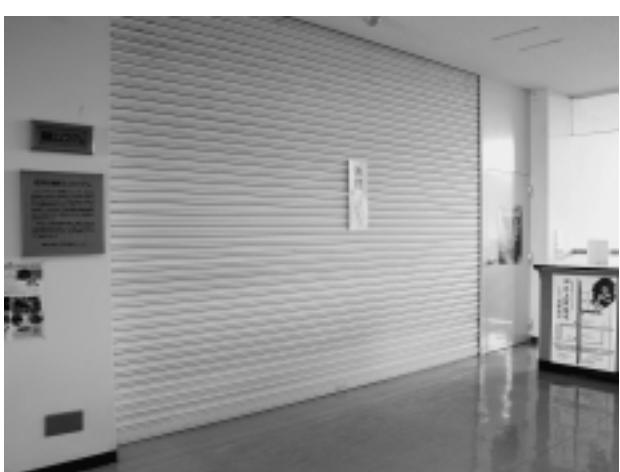
アルサス、フォーレス
トパーク、願掛公園野営

場を連携して活性化を図
る目的で、アルサスは建

設したと記憶している。
その三者が協力して自主

事業に取り組めば、より
効果が表れるのではないか。

連携を図る
村長



冬期間休館となる海峡ミュウジアム（アルサス2階）
4月29日から10月31日まで開館する



竹内典和議員



平成20年11月に就航したポーラスター

下北活性化検討委員会で行動計画を策定し、観光客誘致、地元客の利用促進を図るとしていたが、結果的に赤字が増えることになってしまった。

行動計画では、平成30

経営責任は
シライン(株)に

下北活性化検討会は、あくまで提言と側面から

見えず、危機管理ができていない。さらに会社で出した損失を村民が負担することになってしまっており、書面での記録はない。

当初の契約を今一度、説明してほしい。

収入増加を目指し
取り組んでいく

誰が経営者で誰が営業活動をしているのか。経営責任のあるシラインの行動が見えない。

会社の損失を
村民が負担か

平成17年頃からの
経緯がある

過去に遡つてみても、複雑で把握できない。平成17年頃からの経緯であ

竹内典和議員

平成28年度は、団体予約数の大幅な減少と、ボイラースターの故障、修理に伴う代船運航によって、欠航回数が増えた。その経常損失は、今年度末でいくらまで膨らむのか。

村長

平成28年度は
大幅な赤字

主な要因は、欠航したからではなく、大幅な乗客数の減少ではないのか。今年度から始まつた赤字減少対策の検証結果は。

竹内典和議員

現実に営業活動が伴っていない。大間→佐井間の二次交通の構築はどうなつたのか。また、下北

の支援を考えている。実質たが、引き続き目標実現に取り組んでいく。

赤字対策の検証は

経営責任は誰に

経営再建に向

けた取り組み万円増を目指すとしている。実質円の赤字が見込まれる。

たが、引き続き目標実現に取り組んでいく。

ラインにある

シライン(株)の経営不振続く、増える赤字負担をどうする時間をかけることなく協議を進める



移動はポーラスターで（西目屋村との小学生交流事業）

3月定例会

青森～佐井航路のこれまでの歩み

昭和 46 年 10 月	下北汽船株式会社が青森～佐井航路を開設 国から離島航路の指定を受ける	国庫補助航路として 国と県が補助
昭和 62 年 6 月	新造高速船「ほくと」就航	
昭和 62 年 10 月	下北汽船株式会社がむつ湾フェリー株式会社を吸収	
平成 17 年 10 月 24 日	下北汽船株式会社の臨時株主総会でシライン株式会社へ 離島航路営業譲渡・譲受を決議	
11 月 30 日	引き続き国から離島航路の指定を受ける	
平成 18 年 1 月 1 日	運航を開始	国と市町村が補助 (赤字分はむつ市と 佐井村が負担)
平成 20 年 11 月 13 日	新造船「ポーラスター」就航	
平成 28 年 8 月 15 日	職員不足による代船運航開始	
9 月 2 日	訓練中に船体破損のため修理（12 月 23 日まで）	
平成 29 年 2 月 22 日	福浦・牛滝地区住民との意見交換会	

毎年、「経営努力はしま
す。」と言っているが、ほ
う。

村民への負担は
いつまでか

村
長

考
え
て
い
く

村
長
赤字分は
関係市町村が負担

村
長

諸問題への
対策を検討

竹内典和議員

赤字が出ないから
航路再開では

とんど改善されていない。
整理しながら十分考えて
いきたい。

当時私は担当ではなか
つたが、平成 17 年 12 月
定例会で当時の村長が答
弁していることからすれば、この頃から関係市町
村が負担することになつ
たと考えられる。

竹内典和議員
代替え交通の
検討は

村
長

幅
広
く
聞
く

竹内典和議員
福浦・牛滝地区と
意見交換を

一番困るのは牛滝、福
浦地区の村民である。安
易に船があった方、ない
方どちらが良いのかと聞
くのではなく、代替え交
通などを提示して意見交
換をするべきでは。

整理しながら十分考えて
いきたい。

まだ時間があるので、

その対比をしながら地
域に合った提案をし、意
見を幅広く聞いていきた
い。



坂井文明議員

村長の任期は残り1年 公約実現にむけた進捗状況は 村長一公約着手率は90・09%

坂井議員
残された任期は1年。
雇用対策の取り組み状況
は。

**空き家の利活用で
企業誘致**

村長
従来のような企業誘致
ではなく、空き家の利活
用と合わせ、ITを活用
したサテライトオフィス
(※)を模索していく。

企業誘致による
配慮型産業の誘致促進を
進めるとあり、非常に期
待感を持っていたが。

考え方甘かつた

坂井議員
公約ではトップセール
スによる企業誘致と環境
配慮型産業の誘致促進を
進めるとあり、非常に期
待感を持っていたが。

ライトオフィスは、有効
な企業育成になると考え、
方針転換した。今後懇談
会などで説明し、了承を
得たい。

**雇用対策に
力を入れるべき**

坂井議員

人口減少問題に対する
取り組みとして、漁師縁
組、空き家対策は評価で
きるが、建設会社の倒産
などで、労働力が村外へ
流れている。

繼續して取り組む

坂井議員
国では婚活を進める自
治体に、今まで以上に補
助金を交付するようだが、
活用して継続してほしい。

9月頃に開催したい。
以前は個人の問題とし、
行政では取り組んでこな
かったが、カップル誕生
を重要視し、内容の充実
に努める。

**これまでの
行政運営は**

坂井議員

若い人や女性の声の声
を聞いてほしい。公約を
念頭に、これまでの行政
運営とその総括は。

**住民の声は
聞いたか**

坂井議員

公約では、政策実現の
ために、積極的に地域に
出て住民の声を大事にす
るが、実践はされ
たか。

着手率90・09%

村長

7つの基本的な約束と、
22項目の政策のうち、
20の基本政策は展開中及
びこれから取り組むため、
90・09%の着手率であ
る。

※サテライトオフィス
企業の本社などから離れたところ、本拠から
見て衛星（サテライト）のように存在する事務
所のこと。
パソコンやファックスの普及により、今では
ネットワークを通じて自宅などでも仕事ができ
るようになってきました。

重く受け止める

村長
企業誘致に対する考え方
方が甘かつたと反省して
いる。空き家対策とサテ
ライトオフィスの参入が決定
している。

平成28年度のイベント
は、6月と9月は佐井村
で実施し、12月は青森市
で開催した。村外から女
性34人、村の男性25人
の参加で、6組のカップ
ルが誕生し、現在4組が
交際中である。

**むらづくり懇談会
8地区で開催**

村長
本年度の事業実施にあ
り、むらづくり懇談会
を8地区で開催した。

日本で最も美しい村連合への加盟 課題への取り組み遅いのでは 村長 — 住民自治の確立が加盟への狙い

坂井議員

日本で最も美しい村連合への加盟が表明されてから、半年近く経過した。これまでの動きが鈍いのではないか。

村内外への周知を図っている

4年半で
課題解消できるか

坂井議員

この半年間にアクションプランやシンポジウムの開催ができたのでは。

再審査までのあと4年

半で、指摘された課題の解消ができるか。

行動計画を作成

村長

承認後は、広報への掲載、リーフレットの作成を行った。また、役場正面玄関、各地区公共施設にパネルを展示し、村内外にアピールしている。

2月に資格審査委員2人を講師に招き、地区連合会総会で勉強会を開催した。平成29年度はアクションプランの策定と、住民シンポジウムの開催を行う。連合加盟への理念を共有し、地域住民の意識の啓発を図っていく。

もつておらず、膨大な漂流物がある。指摘されている海岸ゴミの撤去のための調査はしたのか。

海岸漂着物の撤去を計画

産業建設課長

原田海岸と願掛公園付近の海岸漂着物、磯谷地区的不審船の撤去を計画している。

トイレ・風呂改修費用は検討する

村長

トイレと風呂を男女別に設置するよう指摘されている。改修費の支援については、今後検討に入りたい。

漁業者のボランティアは

坂井議員

漁業者のボランティアを募り、撤去するのか。

地区会と共同で実施の計画

村長

4年半の期間で、課題の全てを解消しなければならないわけではない。

各団体と意見交換しながら、行動計画を策定し、気運の醸成を図りたい。

海岸の調査は

原田海岸は原田地区会と共同で実施したい。それが住民自治の確立につながり、「日本で最も美しい村連合」に加盟した狙いでもある。

おり、苦情もある。観光客の入り込みも期待できることから、早い整備が望まれるが。

関係機関へ要望する

村長

行動計画策定と合わせて、関係機関へ要望などをしていく。

仮ヶ浦付近国道の早期整備を

坂井議員

道路は国道338号線仮ヶ浦付近が一番傷んで



危険箇所の改良が待たれる国道338号線

宿泊施設の改修は

宿泊施設の改修対応は。



しおさい公園で開催されたイベント（平成 28 年 6 月 28 日）



山口捷夫議員

「出会い・再会・めぐり逢い」事業 今後も婚活事業の継続を 村長――一組でも多くのカップル誕生、結婚を願う

山口議員
婚活支援事業「出会い・再会・めぐり逢い」

のステージⅠからステージⅢまでの男女の参加人数と、経過は。

のべ男性 25 人
女性 34 人 参加

村長

総合戦略課長

ステージⅠはしおさい公園で開催し、村内男性 9 人、村外女性 15 人が参加。ステージⅡは願掛公園で、男性 9 人、女性 13 人、ステージⅢは、青森市で開催し男性 7 人、女性 6 人が参加した。現在も 4 組のカップルが交際中である。

食の親善大使を委嘱している 4 人の有名シェフのうち、1 店のレストランに招待しようと考へている。東京までの往復 2 人分の交通費とレストランの食事代をプレゼントしたい。

効果は期待以上
事業は継続か

村長

引き続き委託する

事業は、継続していく

婚活事業は成果を出すのが難しいが、期待以上の成果が表れている。

今後も婚活事業の継続を考えているか。

地元男性の参加が少ないことから、議員各位にも独身男性への声掛けなどに協力願いたい。

継続したい

結婚した場合
祝い金の支給は

山口議員

結婚まで進展した場合、村としてお祝い金の支給などを検討しているか。

願掛公園で夕日を見ながら
(平成 28 年 9 月 3 日)

今後もこの事業は、事業者へ委託して行うのか。

総合戦略課長

内容はもう一度精査する必要があるが、引き続き事業者へ委託したい。

3月定例会

漁師縁組事業

地元を対象にした後継者制度を

村長 一 現段階では考えていない



期待がかかる地元の若手漁業者

総合戦略課長
技術指導料として
月額10万円

村長
4人そろつたら
企画したい

村長
考
え
て
い
な
い

問い合わせが8件あり、
5人の応募があった。面
接を行い、10代、20代、
30代、40代の4人の就
業が決定している。

問い合わせが8件あり、
5人の応募があった。面
接を行い、10代、20代、
30代、40代の4人の就
業が決定している。

**5人の応募
4人の就業が決定**

村長
納得している

総合戦略課長
地域おこし協力隊と同
じ制度を活用し、嘱託職
員に任用する。特別地方
交付税で100%補填さ
れる。

山口議員
就業者は若いので、未
永く佐井村に住んでほし
い。コミュニケーション
などを開催できないか。

山口議員
地元の方々を対象にし
た、漁師を育成するため
の後継者制度はできない
か。

環境は厳しく、年々漁業
従事者は減少し、高齢化
が進んでいる。
漁師縁組事業には、何
人の応募があり、現在何
人が決定しているか。

山口議員
新規漁業就業者募集要
項で業務内容を定めてい
るが、十分理解し納得の
上で決定しているか。

山口議員
当村の漁業を取り巻く
環境は厳しく、年々漁業
従事者は減少し、高齢化
が進んでいる。

山口議員
業務内容に
納得しているか

山口議員
雇用形態はどうなるの
か。

雇用形態は



中高年でも1人で船に乗る漁業者は多い

◆ 追跡質問では、過去に質問した件がその後どうなったのか経過を問います ◆

シライン(株)について (平成28年9月定例会)

ポーラスターの今後は

宮川議員

シラインの経営状況と、ポーラスターの運航に関する行つた。福浦と牛滝地区的住民説明会の結果は。

意見交換会を実施

村長

ポーラスターに関する意見交換会として、2月22日に実施している。

総合戦略課長

福浦・牛滝地区で説明と意見交換

意見交換会の前に、航路5年間の運航回数、乗船人員、経営状況等を説明し、それに基づき地元の方々から意見を伺つた。

福浦地区は、天候の関係で入港回数が少ない。できれば陸上交通を充実させてはとの意見があつた。

牛滝地区は、赤字が非常に大きく、村の負担が大きいが、自動車などの

免許を持たない人もいるため、一往復だけでも運航してほしいとの意見が出された。

最終的には、今回の意見聴取とシラインで行った住民アンケートの結果を集計し、再度両地区に出向いて状況を説明したい。

宮川議員

防災航路の交渉は

村長

平成29年度防災計画に

平成29年度に改定する

「佐井村防災計画」の中に入れることが第一になります。その後、関係するむつ市、県の防災計画に明記されることで、防災航路としての定義付けができるものと考えている。

平成28年度 3月補正予算を可決

(平成29年3月15日現在)

会計	補正前	補正額	計
一般会計	28億876万円	1億1558万円	29億2434万円
主な内容	ヒト・モノ・カネ・情報を呼ぶ賑わい空間創出事業 1億4000万円（平成29年度へ繰り越し） アルサス周辺に賑わいを創出するため、国庫補助を財源として整備します。 ○アルサス敷地内に地場産品販売施設を整備 ○アルサス内のテナント改修、エレベーター設置 ○しおさい公園の遊具設置 ○公衆トイレの整備		
簡易水道事業	7469万円	191万円	7660万円
国民健康保険	5億1625万円	△5113万円	4億6512万円
介護保険	3億5356万円	△6276万円	2億9080万円
後期高齢者医療	2407万円	△13万円	2394万円

3月定例会 陳情書の審査結果

農業者戸別所得補償制度の復活を求める陳情

採 択

【陳情者】 青森県農民運動連合会 会長 森 淳一

【審査結果】 採択

【付託委員会】 総務産業常任委員会

【陳情の趣旨】 生産費をつぐなう農業者戸別所得補償制度を復活させて、国民の食糧と地域経済、環境と国土を守ることを求めるもの。

【採択の理由】 米価が生産費を大きく下回る水準にある中、経営所得安定対策制度も、平成30年度米から廃止されようとしている。これでは、稲作経営が成り立たないばかりか、水田の持つ多面的機能も喪失するおそれがあることから、農業者戸別補償制度を復活させることが必要であるため。

採択された意見書

国へ提出しました

本県独自の学力状況調査の結果公表のあり方の検討を 求める「意見書」を提出していただきたい陳情書

資料配布

【陳情者】 民主教育を進める青森県民連合

代表 阿部 喜美子、平戸 富治、渡部 秀逸、酒田 孝

【審査結果】 資料配布

【陳情の趣旨】 青森県教育委員会宛てに、県独自の学力状況調査の10市6郡ごとの結果公表を改める意見書の提出を求めるもの。

【資料配布の理由】 意見書ではなく、青森県教育委員会への要望と解されるため。



竹内議員

竹内典和議員が青森県町村議會議長会から自治功労章（平成29年2月24日表彰・議会議員11年以上）を受けました。



山口議員



宮川議員

宮川尚議員と山口捷夫議員が、全国町村議會議長会から自治功労章（平成29年2月24日表彰・議会議員15年以上）を受けました。

ぎかいの話題

総務産業常任委員会委員長報告

佐井村漁業協同組合 平成28年度決算



山口 捷夫 委員長

本常任委員会は、2月27日に、佐井村漁業組合から平成28年度の決算状況などについて説明を受けました。

坂井組合長、宮川総務部長から収益全体で4億4千442万3千円、費用合計で4億413万1千円、当期剰余金は307万2千円の黒字決算であり、昨年に引き続き黒字決算となつたとの報告がありました。

その要因は、ヤリイカ

やモズクが年間計画を下回ったものの、マダラの豊漁により、計画を上回る水揚げ量及び水揚げ額となつたものであります。

現在、漁協は行政とともに、「あおい環経済戦略ビジョン」の中で、わかれオーナー制度をはじめ、

漁師縁組による新規就業者の確保、漁業生産法人の設立による経営体制強化など、さまざまな事業を展開しています。これらの事業が早く軌道に乗り、組合員の所得向上につながることを期待して

います。

漁業は村の基幹産業ですが、漁業者、漁協とも非常に厳しい経営が強いられています。行政における水揚げ量及び水揚げ額となる指導、助言をお願いします。

本員会は、今後も村内の産業や教育など、広く地元の状況を調査していく

議会改革特別委員会委員長報告

議員定数・報酬・政策提言を議論



竹内 典和 委員長

本特別委員会は、昨年6回の委員会を開催し、特に「議員報酬」並びに「政策提言」について議論を重ねてきました。

議員報酬については、依然として厳しい村の財政事情を重く受け止め、引き続き期末手当を5パーセント削減し、加算率も設けないという判断にたちました。

次の改選まで2年とな

るにあたり、村議会が抱

える問題として、サラリーマンや各種職場を持つ人、主婦の方々などさまざまな階層から、意欲のある村民が、誰でも議員に立候補できるには、ど

ういう方法が良いのか、

魅力ある議会づくりに向け、議員定数や議員報酬については、住民の声を

本特別委員会では、議会機能の充実強化及び活性化を図るために、いたことから・できることが「から」をモットーに、引き続き議会改革を推進していきます。

聞きながら、今後も引き続き協議を進め、結論を出したいと思います。また、政策提言については、テーマを防災に絞って議論を重ねてきました。佐井村防災計画が来年度中に策定されるにあたり、村当局とも協議を進めながら、安全安心な村づくりに向けた政策を提言していきたいと思います。

大間原子力発電所対策特別委員会委員長報告 近づく審査の結論に早い対応を

大間原子力発電所対策特別委員会 委員長 竹内典和

大間原子力発電所の動向については、電源開発（株）が平成26年12月に新規制基準に適合しているかを確認する審査をしてから、これまで12回の審査会合が開催されており、一日も早い審査の結果が待たれるところです。原子力規制委員会からは、「世界でも実例のない原発であることから、相当慎重に評価される。」という見解が示され、これからも厳しい審査が続く可能性があります。

このことから、運転開始が未定であり、稼働が大幅に遅れることは、より一層地域経済が疲弊し、雇用や地元経済活動の影響がますます深刻となります。

しかし、一方では、時間が費やされようが、安が確保できる発電所づくりが、最も重要なと考えています。

大間原子力発電所は、これからも厳しい審査が続く可能性があります。

大間原子力発電所は、遠からず「原子力規制委員会」による審査の結論が出るかと思いますが、村には村独自の避難計画等の策定について、その準備に着手するなど、早め早めの対応をお願いします。

当委員会は、大間原発を巡る動向を注視しながら、常に新しい情報を入手し、活動を活性化させていきます。

大間原子力発電所の動向については、電源開発（株）から新規制基準適合性審査の対応状況、工事の概要などを説明を受けています。

また、昨年9月には佐賀県の九州電力「玄海原子力発電所」を視察し、新規制基準の安全性審査中における対応や、再稼働に向けた準備が進められている状況を確認してきました。

当委員会は、平成28年度中に委員会を6回開催し、電源開発（株）から新規制基準適合性審査の対応状況、工事の概要などを説明を受けています。

災害対策に係る条例

議長から村長へ提言書を手交



提言書を読み上げる竹内議長（平成29年3月3日）

議会改革特別委員会では、議会改革の一環として災害や原発事故を想定した防災について議論を重ねています。

その中で『災害対策に係る条例』について、内容を審査検討した結果、条例と要綱の改正が必要な点について、村長へ提案しました。

しゅこう
手交…直接相手に渡すこと

元気！で働く お年寄りを紹介



柳田市雄さん（85歳）福浦

「いろんなことに挑戦してきた」

福

浦で生まれ育った柳田さん。小学校（当時は佐井尋常小学校福浦分教場）を卒業すると、すぐにおじさんの船に乗り、漁師の仕事を始めたそうです。

以来、約50年の長きにわたり地区の方々に親しまれ、最近では県外から訪れるファンもいるほどの食堂となりました。

現在、食堂の仕事はインさんによせていますが、以前はイブイン」をはじめたそうです。

以来、約50年の長きにわたり地区の方々に親しまれ、最近では県外から訪れるファンもいるほどの食堂となりました。

若

渔业研究会で北海道に視察に行つたとき、自分で採つたアワビや魚介類を井にできなか、それをメニューにした食事ができないかと思いつきました。

やたこ焼きの販売など、漁業以外にも仕事を見つけては、挑戦してきました。



沖から戻るとすぐ、照雄さん（左）たちと網の手入れをする



今朝採れたウニをむくイシさん

◇編集後記◇

卒業式や入学式と、慌ただしい3月と4月でしたが、ようやく春めいてきました。

平成29年第1回定例会は3月10日から15日まで、主に平成28年度補正予算、平成29年度予算が活発に議論され、可決されました。

村内経済が不振の中、新しい事業も盛り込まれてるので、新年度に期待したいところです。議員の任期も折り返しで3年目に入りました。不況を開拓するため、より精進して奮闘していくたいものです。

（竹内典和）

議会広報編集委員会

委員長	田中 岩男
副委員長	山口 捷夫
委員	宮川 竹内 典和
黙夫	尚尚